



かしこく なかよく げんきよく



# 葛葉だより

<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/kuzumaki/>

E-mail [kuzumaki@mitsuke-ngt.ed.jp](mailto:kuzumaki@mitsuke-ngt.ed.jp)

令和6年7月19(金)  
見附市立葛巻小学校だより

Tel 0258-62-0689

Fax 0258-63-5017

No.365

イメージキャラクター「くりりん」



1・2年生 老人会との草取り作業



全校 道徳学習参観



1学期無事終了です

校長 白井 敦

どんよりとした空模様が続いています。もう少しの辛抱で、気持ちのいい夏空を眺められる季節になってきました。梅雨末期の大雨が降らないことを祈るばかりです。

学校では、73日間の1学期が間もなく終わりを迎えようとしています。あっという間に過ぎ去った4か月だった気がします。何より、大過なくみんな揃って1学期の終業式を迎えられることを大変うれしく思っています。これも偏に保護者・地域の皆様方からのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。この1学期も、子どもたちはたくさんの学びや経験を通して確実に成長いたしました。難しいことにチャレンジしたり、時には友達と仲違いしたりしながら心と体が一回り大きくなった印象です。みんなよく頑張りました。子ども一人一人の成長の様子や学びの姿は、終業式にお渡しする「あゆみ」やその後の個別懇談で保護者の皆様にお伝えします。

いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。今年も家族や親せきと過ごす時間を大切にしたい、思い出深い夏休みになってくれたらと願っています。昨年度の7月号でも、夏休みは「自立心」を育む絶好のチャンスだとお伝えしました。子どもたちが「自分で考え、成功体験を実感できる」活動を仕組んでみてください。手伝い過ぎず、さりげなくヒントを与え、自分で答えを導き出せるようなかわりがミソです。

これはあくまでも私の思いですが、小学生の時期に「自立心」を育むことは、この時期の発達課題である「勤勉性」を育むことに直結していると感じます。発達課題とは、デンマークの心理学者エリクソンによって提唱された考えで、人の一生を乳児期から老年期までの8つの成長段階に分け、それぞれの段階の「課題」と「危機」、課題を乗り越えることで「得られる力」を示しています。それによると、6歳から13歳までを学童期とし、発達課題を「勤勉性」、社会心理的危機を「劣等感」、得られる力は「有能感」とされています。「勤勉性」を育む元は「成功体験」です。努力と結果が結びつくことで頑張ればうまくいくという思いを強くもちます。その際大切なものが、教師やお家の方からの肯定的なフィードバック。子どもの努力や成功を大いに褒めたり称賛したりします。もし失敗しても決して責めず、次にどうしたらいいかを一緒に考えます。この逆の対応をすると「劣等感」が根付いてしまい、挑戦意欲の低い人になると説いています。

小学校の時期(学童期)は、子どもが自らの能力への信念を確立して、将来の社会生活への態度を形作る重要な時期です。適切な声掛けと環境づくりで、みんなで葛巻地区の子どもたちをよりよく育みたいと思います。

